

# Go-JIN —ゴウジン—

「剛—ゴウ」なる強さ(高強度)と「靱—ジン」なるしなやかさ(高伸長)を併せ持つ、バランスの取れた新設計。  
高靱性環境対応型ウレタン塗膜防水が実現する、メッシュフリー工法が登場しました。



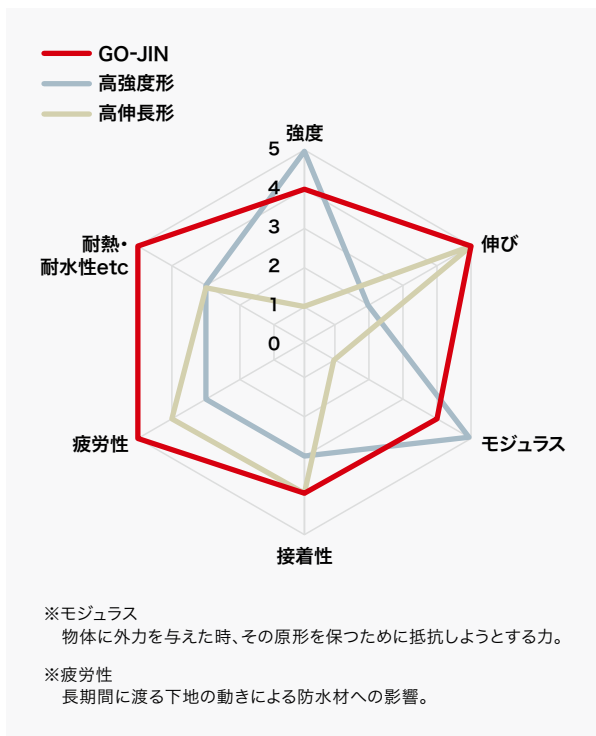
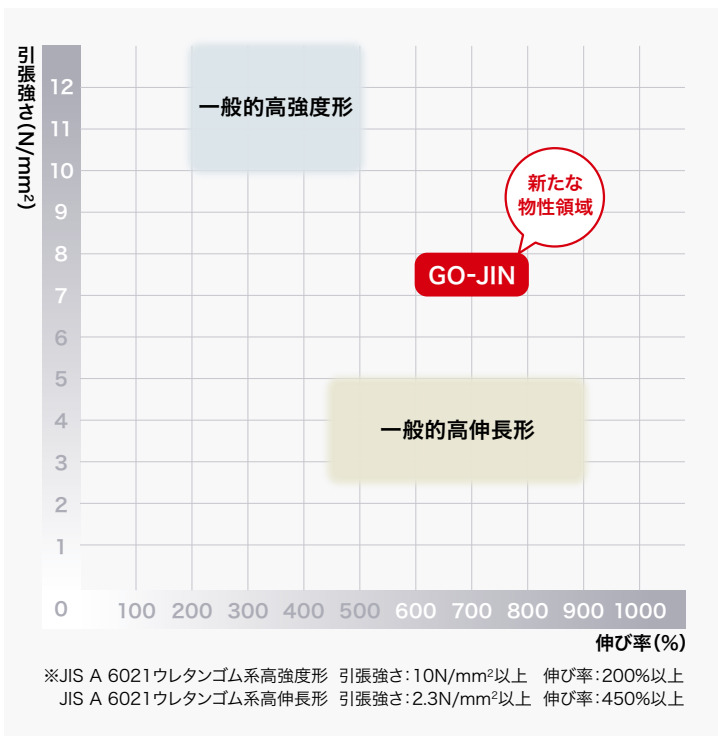
剛  
高強度

靱  
高伸長

だから

メッシュフリー 

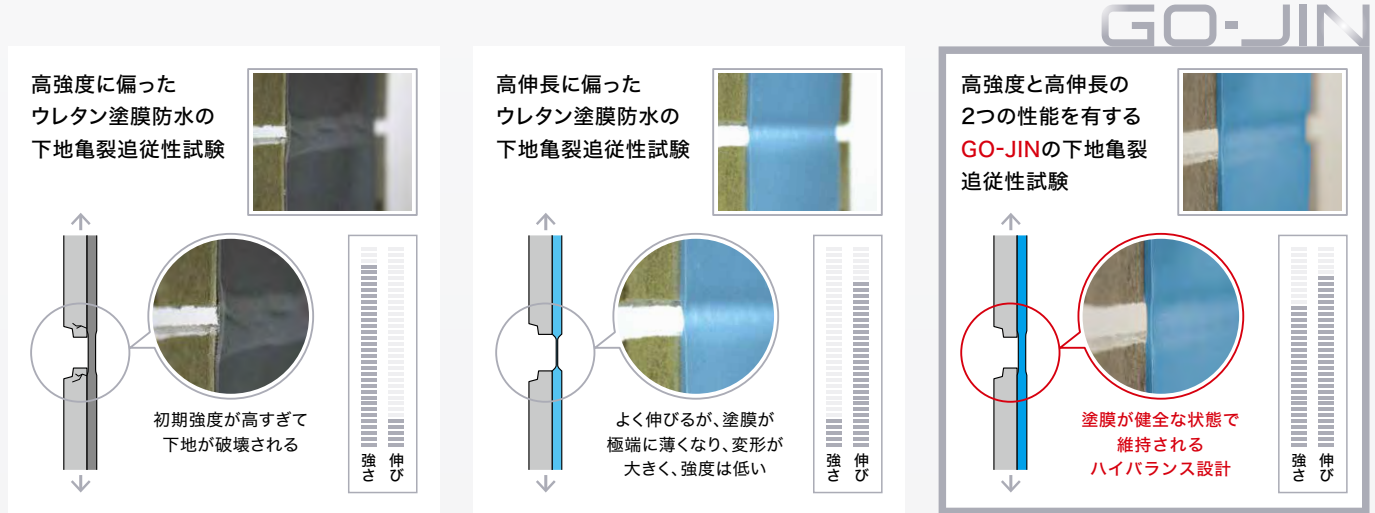
一般的な高強度形・高伸長形と異なる、新たなウレタン防水材「GO-JIN」



# 「剛」の強さと「靱」のしなやかさを発揮する新たな設計

## 高強度と高伸長の2つの性能を有するハイバランス設計

高強度と高伸長の2つの性能を有するGO-JINは、下地に亀裂が生じた場合も理想的な塗膜変形となり、亀裂箇所に応力が集中しないため、従来のウレタン防水と比較してより長期に塗膜の耐久性を発揮します。



## メッシュフリーでもメッシュ補強工法を大きく上回る性能

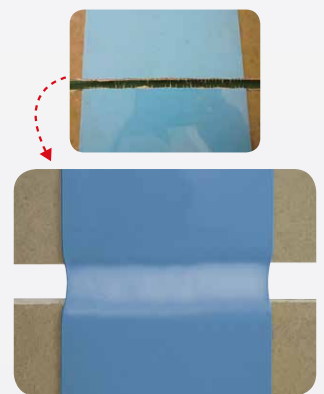
下地亀裂追従性はウレタン塗膜防水の性能の中で最も重要な指標のひとつです。GO-JINは下地亀裂追従性に優れ、その破壊エネルギーは2mm厚であってもウレタン塗膜防水メッシュ補強工法3mm厚を大きく上回る(下表参照)ことから、メッシュがなくても十分な性能を有しているといえます。

### 低速ゼロスパン下地追従性

仕様	最大点			破断点		破壊エネルギー※(J)
	材料	塗膜厚み(mm)	強度(N/100mm)	伸び(mm)	強度(N/100mm)	
GO-JIN V	2	593.5	20.7	583.7	22.1	11.1
オルタックエースメッシュ補強工法	3	1097.7	1.7	425.2	14.9	6.6

※破壊エネルギー：下地に固定させた上記試験において、塗膜が破断するまでに要する力(エネルギー)

オルタックエースメッシュ補強工法の破断状況



GO-JIN V 伸びて強い

## 最先端の環境対応

- ・特定化学物質障害予防規則(特化則)に該当していません。
- ・厚生労働省、文部科学省などでシックハウス(室内空気汚染)の原因として指定されている物質を含有していません。
- ・シックハウスへの対応として、最高評価のF☆☆☆☆を取得しています。

※GO-JINの環境対応の詳細については26ページをご参照ください。

## 攪拌状態が一目で見てわかる品質設計

- ・主剤、硬化剤それぞれに着色することで、攪拌状態が一目で確認できます。



主剤

+



硬化剤

=



混合液

配合比  
主剤 硬化剤  
1:1.5

# Go-JINは更なる進化へ

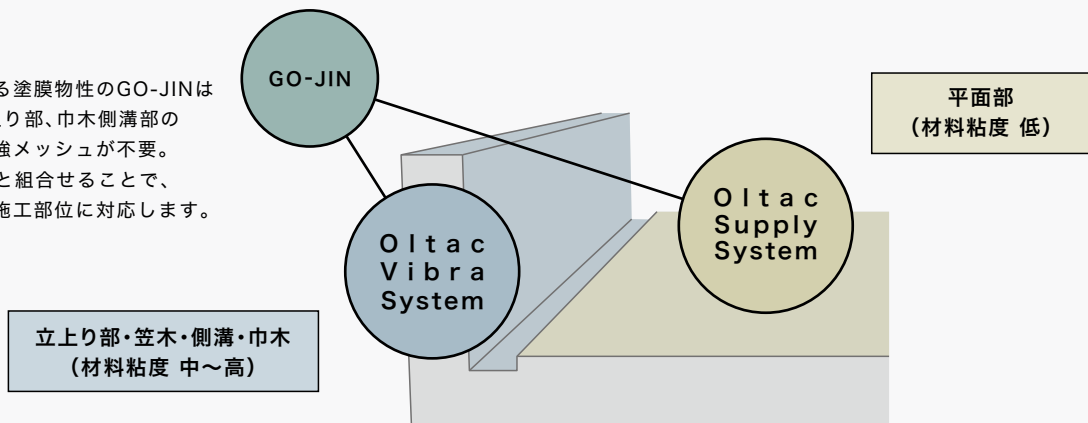
高強度と高伸長の2つの性能(高靱性)を併せ持ち、メッシュフリーを実現したGO-JIN。  
自動混合を行う機械化システムとの組合せで、品質向上と作業効率改善を実現します。

剛靱  
高靱性メッシュフリー  
×  
機械化  
システム  
だから  
省力化・高品質

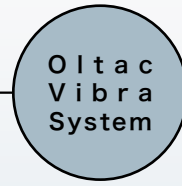
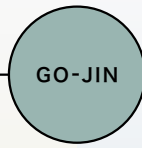
## 低粘度から高粘度まで、すべてを機械化対応

平面部用の低粘度ウレタン向け自動混合圧送システム(OSS)に加え、  
新たに立上り用や巾木側溝用の中・高粘度ウレタンに対応した自動混合システム(OVS)を開発しました。

靱性に優れる塗膜物性のGO-JINは  
平面部、立上り部、巾木側溝部の  
いずれも補強メッシュが不要。  
OSS、OVSと組合せることで、  
さまざまな施工部位に対応します。



## 高靱性メッシュフリーと機械化(自動混合)



自動混合・圧送システム

### Oltac Supply System 「OSS」

専用ポンプ車で材料を強力圧送するサプライシステム。  
大面積の施工に圧倒的な威力を発揮。

材料粘度 低



高速振動・自動混合システム

### Oltac Vibra System 「OVS」

高速振動によってウレタンの主剤と硬化剤を自動混合する画期的マシン。場所を取らないコンパクト設計で取扱いが容易です。

材料粘度 中～高



※関東地区から運用開始になります

## 省力化の実現

材料の計量・攪拌が  
不要



材料の荷揚げが  
不要



廃材を大幅削減



手動攪拌が不要



材料の計量・攪拌が不要

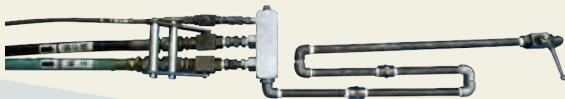


攪拌機の  
洗浄作業が不要



## 高品質な防水層を形成

OSSでは、確実な混合を行うために内部に独特な形状のエレメント(14ページ参照)を組み込んだスタティックミキサーを先端部に採用しています。



混合不良のない  
メカニズム

Vibraでは、主剤を投入した硬化剤缶をマシン内で高速振動させることで容器内の2液に流動が発生し、隅々まで均一に混合します。1セットごとに自動混合するので、計量ミスも生じません。



ウレタン塗膜防水の主剤、硬化剤を混合する際に、プロペラ型の攪拌機を用いると、エアを巻き込みやすくなる場合があります。スタティックミキサーやVibraによる混合液は、エアの巻き込みが全くなく、高品質な塗膜を確実に形成することができます。

エアの巻き込みが生じない



エアを巻き込まないので  
密な防水層となる



エアを巻き込んで硬化してしまうと  
密な防水層とならない

※エアの巻き込みを再現した塗膜断面をマイクログラフで拡大